

# まき 倶楽部

2023  
冬  
Winter



トピックス

牧リハビリテーション病院で  
FLS委員会を立ち上げました  
／牧リハビリテーション病院

vol.132

心あたたまる医療展開をめざしています



牧リハビリテーション病院

## INDEX

- ◎年頭所感/理事長
- ◎牧病院の診療科に予防健診科新設/牧病院
- ◎城東区市民健康講座/おおさかグローバル整形外科病院
- ◎介護老人保健施設での訪問リハビリテーションの導入を決定致しました  
／牧すこやかセンター
- ◎牧ふくし用具 展示室/牧ふくし用具

## 年 頭 所 感

牧ヘルスケアグループ CEO 牧 恭彦 (まき やすひこ)

新年、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年の干支は癸卯（みずのと・う）です。自らの進むべき道をしっかり見定めた上で行動し、新たな発展へと向かう年です。

年末には世界中が湧き上がった FIFA ワールドカップが開催されました。と言っても普段は殆ど試合を見ない、にわかファンではありますが。ベスト8という明確な目標を共有し、最後まで決して諦めない心でチーム一丸となって突き進む姿に感動を覚えました。また、試合が終わった後、観客サポーター達がゴミ拾いを行い、選手達もロッカールームを綺麗に掃除した後、折り鶴と共にその国の言葉で感謝の手紙が添えてあったこと

に世界中から称賛の声が上がりました。その姿に日本人の美徳、心意気を感じました。また森保監督の選手と共に泣き、共に喜び選手を鼓舞し、共に戦うリーダーシップ力に感動いたしました。

組織には野球型組織とサッカー型組織があります。経営者の意思決定に従って動く野球型、経営方針に従って社員一人ひとりが主体的に行動する組織型。テクノロジーの進化や市場のグローバル化などの変化が激しい時代において、サッカー型組織は極めて有効であると言われています。今、医療福祉の世界も大きな変化の真っ只中にいます。そういう意味では、サッカー型組織が良いように思いますが、救急の現場などは統率の取れた野球型組織が必要です。状況に応じて柔軟な組織に変化しなければなりません。

さて、牧ヘルスケアグループのビジョンとして牧病院は地域多機能病院として、在宅ケア・老健施設と共に旭区、守口市の地域包括ケアシステムを支えます。牧リハビリテーション病院は、大阪市北東部から北河内、更に広域な地域のリハビリ拠点となります。おおさかグローバル整形外科病院は低侵襲手術に拘り、大阪から世界を目指します。我々の最大の財産は地域とのネットワークと信頼関係です。

地域と共に歩む 牧ヘルスケアグループを本年も宜しくお願い申し上げます。



## 牧リハビリテーション病院でFLS委員会を立ち上げました

牧リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法士      おおの ひろき  
 FLS 委員会 副委員長      大野 博幹

ここ数年、テレビや新聞で骨粗鬆症に関する番組や記事を多く目にするようになりました。当院には骨粗鬆症で骨折された患者さんも多く、チームを結成し入院患者さんやそのご家族に骨粗鬆症の啓発活動が出来れば良いと考えていました。その思いが通じ、今年の4月、当院でも FLS 委員会を立ち上げる事が出来ました。FLS とは Fracture Liaison Service の頭文字を取った略語であり、骨粗鬆症骨折患者さんに対する再骨折予防のための診療支援システムの事です。当委員会として初投稿でもあり、今回は「骨粗鬆症の概要」と「当院での骨粗鬆症予防の取り組み」についてご紹介したいと思います。

骨粗鬆症とはガイドラインの定義では「骨密度の低下と骨の構造が変化し、骨が弱くなっている状態」と示されています。全国には約 1,280 万人（男性 300 万人、女性 980 万人）いるとの報告があり、女性の方が多い疾患です。

当院の FLS 委員会メンバーは医師 1 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名、理学療法士 2 名で構成されており、骨粗鬆症学会認定のライセンスを有しているスタッフもいます。主な活動としては骨折で入院した患者さんの再骨折を予防する為に、「患者さんやそのご家族に対して骨粗鬆症予防に関する正しい情報を提供して理解を促すことや当院スタッフが骨粗鬆症に関心を持ち、日常的に患者さんへ啓発出来る様にするための勉強会の開催等」を行っています。また、月 1 回委員会メンバーが集まり、入院患者さんの骨粗鬆症治療薬や身体機能の状態、生活習慣や骨折歴等の情報を把握し、多職種で共有して今後の治療方針を検討しています。そして退院後にも骨粗鬆症の治療を継続できるように、患者さんの診療情報を次の病院やかかりつけ医へ伝え、自宅へ復帰する際には、運動指導や自宅の環境設定等も行っています。

当委員会としては今後、地域の方々の骨を少しでも強くし、転倒・骨折を減らす事に貢献出来る様にコツコツと取り組みを広げていきたいと考えています。



# 牧病院の診療科に予防健診科新設

*Medical for Happiness* 一人ひとりの幸せな人生を支えるために

おおしま たいち  
予防健診科 部長 大嶋 太一

私たちはより多くの方に、心身ともに健康で充実した人生を送っていただきたいと考えています。そのためには、いままでの病気治療だけではなく、早期に病気を発見することにより早期治療を可能にしたい。その想いを胸に数年前から予防医療に取り組むことにしました。当院スタッフもその想いに賛同してくれ、体制を整えていくことにより多くの方々に当院を受診していただいております。これからも皆様の健康で幸せな人生を支えるために、予防健診科はより一層努力していく所存です。



のだ やすよ  
予防健診科 副主任 野田 靖代

「何らかの症状」が出てから私たちは病院に行きます。これは「病気の治療」です。しかし、近年注目されている医療に「予防医療」があります。

健康な余生を過ごすための健康づくりと疾病の予防、機能の回復への取組みを総称して「予防医療」と呼びます。

牧病院は数年前から予防医療に取り組んできました。私たちの理念にあるように、「一人ひとりの幸せな人生を支えるために」お一人おひとりの健康な人生のためにお役に立ちたいという思いから、予防健診科を新設しました。

## 健康寿命を延ばすための予防医療

世界の中でも日本の平均寿命が長いことはみなさんご存知の通りです。しかし、最近の考え方は、平均寿命よりも、健康で生活できる時間「健康寿命」をいかに延ばすかが重要視されています。健康寿命が伸びると、私たちの人生はより豊かになります。そこで注目されている医療が「予防医療」です。

## 「二次予防」の役割と「一次予防」の推進

健康診断・がん検診・人間ドックは生活習慣病やがんを早期発見し早期治療をする「二次予防」がよく知られています。最近の予防医療では、一歩前進し「一次予防」すなわち、病気になる前、健康リスクが高くなる前に予防し、長く健康で過ごしていくことが最も重要と考えます。

一次予防は年齢の高い人や病気を持つ人だけでなく健康な人にとってもメリットがあります。健康診断・がん検診・人間ドックを受診された後も、いつまでも元気で豊かな人生を送るために、生活習慣を見直していただきたい。そして、健康的な生活を送りながら、定期的に健康診断・人間ドックによる体のチェックを続けていただきたい。

当院の予防健診科の担当者は、医療資格（診療放射線技師）があり豊富な医療情報を持っています。ぜひ、受診するコースにお迷いの際は、担当者にご相談ください。



ご予約・お問合せ

牧病院 予防健診科 TEL:06-6953-0120



# 城東区市民健康講座

おおさかグローバル整形外科病院 整形外科医 <sup>すぎやす</sup>杉安 <sup>けんじろう</sup>謙仁朗

令和4年12月2日、城東区民センターにて市民講座をさせていただきました。当日は多くの方々に集まって頂き「変形した股関節、膝関節の治療 ～切らない治療から人工関節置換術まで～」をテーマにお話ししました。

高齢化に伴い、変形性膝関節症をはじめとする関節疾患を主訴に来院される患者さんの数が増加しております。痛みを改善するためにはまず整形外科専門医の診察を受け、痛みの原因を調べる必要があります。

講座では股関節、膝関節のしくみ、軟骨の役割を説明し、軟骨のすり減りが痛みの原因になること、痛みを取るための各々の治療方法についてお話ししました。切らない治療（保存療法）には生活習慣改善や運動療法、薬物療法があります。それらすべての切らない治療が効かなくなった場合、人工関節は痛みを取り除く最も有効な治療法であり、当院での手術についての取り組み、治療の流れについて詳しく解説しました。

ご参加頂いた方の中には膝の痛みで困っている方もいらっしゃったようで、熱心に私の話に耳を傾けて下さいました。

当院では股・膝関節疾患に特化して、より高度な医療を効率よく提供するために人工関節外来を行っております。専門外来では、手術適応の判断や手術方法の選択、説明など患者さんの不安や疑問にお答えします。予約はwebでも可能ですし、予約専用ダイヤルも開設しておりますので、お気軽にお問合せ下さい。

## 股・膝人工関節外来（予約制）

水曜午前・金曜午前（担当：杉安）／木曜午前（担当：松原）





## 介護老人保健施設での 訪問リハビリテーションの導入を決定致しました



どい ひろし  
診療部 リハビリテーション科 理学療法士 土井 浩史

この度、当センターをご利用される方に対して訪問リハビリテーションの導入を決定いたしました。これにより当センターは入所、短期入所、通所リハビリテーションに加え4つ目のサービスを整備することになりました。

現時点では当センターを利用している方に対してサービスを提案する形になりますが、いずれは利用有無問わずサービスを必要とされる方のところへ伺えたらと考えています。

私たちは入所、短期入所、通所サービスを通して利用される方々の日常に寄り添っています。その中には元気に挨拶される方、体調が思わしくない方様々です。もちろん皆が元気に生活することが何より一番だと思っておりますが、お一人お一人に合う関わりを大切にしています。そのことを訪問リハビリテーションにおいても体現したいと考えています。限られた時間の中でご本人、ご家族をはじめ介護支援専門員などの声を聞き、その輪の中に入れていただきたいと思います。

近年、入院期間は短縮し在宅関連における継続した疾患管理は必要な状況です。訪問看護や訪問介護をはじめとする在宅サービスの需要は増えています。私たちはそのような在宅で過ごす近隣の方々に訪問リハビリテーションの立場から携わらせていただきます。主治医であるかかりつけの先生方やケアマネである（介護支援専門員）方が作成する居宅プランを認識し、微力ながら私たちがこれまで培ってきたリハビリテーションをお届けする考えです。

牧すこやかセンターの訪問リハビリを選んで良かったと思っただけのよう行動する所存です。今後とも牧すこやかセンターをよろしくお願いいたします。



## 牧ふくし用具 展示室

さいとう たけし  
管理者 齋藤 健

牧病院から西に50メートル程離れた牧在宅ケア施設内の一階に、福祉用具を展示しております。スペースが限られておりますので商品数は多くありませんが、施設周辺を移動されている方々が関心を持たれ、多くの方にお立ち寄りいただいております。その場でご購入、もしくはカタログから商品を選んでいただき、お取り寄せも行っております。

商品購入にあたって、『一度手に取ってどのような商品か見てみたい』、『靴はサイズが合うかわからないので試着したい』、『杖を使った歩行はどのような感じか試したい』という声にお応えし、実際に商品を試していただけるデモ商品も一部ご用意しております。お客様からは、実際の商品に触れて安心して購入できたと喜びの声もいただいております。

その他、介護用品だけではなく、健康グッズの取り扱いもあり、ご高齢以外の方からもご相談・注文をいただいております。介護や健康についてご相談や商品を希望される方、牧病院にご家族が急遽入院して介護用品が必要になった方など、ぜひ一度牧ふくし用具へお立ち寄りくださいませ。

※無料カタログも配布しております。

### 牧ふくし用具

電話:06-6958-1030

営業日:月曜日～金曜日

8:30～17:00

### 牧ふくし用具売れ筋商品ランキング

1. 靴
2. 杖
3. オムツなどの排泄ケア用品
4. シルバーカー
5. マスクなどの衛生用品



# 旭区市民公開講座のお知らせ

## 「変形した股関節、ひざ関節の治療

～切らない治療から人工関節置換術まで～

日時：令和5年3月10日(金)  
午後2時00分から午後3時00分まで

講師：おおさかグローバル整形外科病院

杉安 謙仁朗 医師(専門:股・膝人工関節)

場所：旭区民センター 2階大ホール

参加対象；大阪市内にお住まいで利用証をお持ちの60歳以上の方

開催日時にご注意ください!

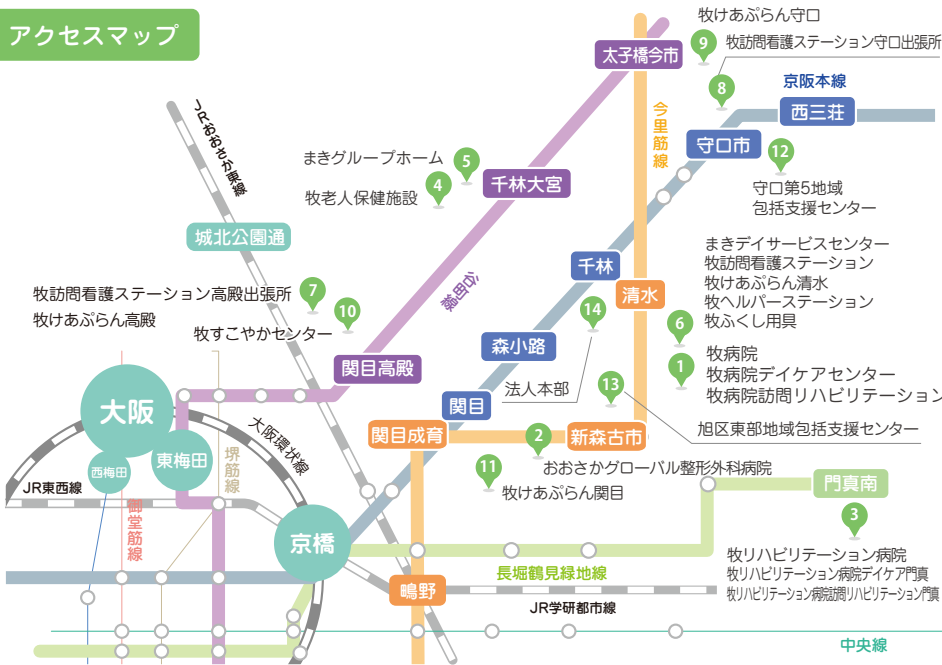
### 【利用証・事前予約について】

大阪市立旭区老人福祉センターへご来館の上、お申し込みください。

★お問い合わせ；大阪市立旭区老人福祉センター

(住所) 大阪市旭区森小路 2-5-29  
(電話番号) 06-6955-1377

### アクセスマップ



### 牧ヘルケアグループ 医療法人清翠会

#### 私たちの理念

## Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

#### 私たちの約束

### 『Professional』

医療人としての誇りと謙虚さを持ち、日々研鑽を重ねます。

### 『Heart』

あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

### 『Team』

和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

- 1 牧病院  
〒535-0022 大阪市旭区新森7-10-28  
TEL: 06-6953-0120  
牧病院デイケアセンター  
TEL: 06-6953-1881  
牧病院訪問リハビリテーション  
TEL: 070-5043-0494
- 2 おおさかグローバル整形外科病院  
〒536-0008 大阪市城東区関目6-15-30  
TEL: 06-6786-6200
- 3 牧リハビリテーション病院  
〒571-0015 大阪府門真市三ツ島3-6-34  
TEL: 072-887-0010  
牧リハビリテーション病院デイケア門真  
TEL: 072-887-0050  
牧リハビリテーション病院  
訪問リハビリテーション門真  
TEL: 072-887-0010
- 4 牧老人保健施設  
〒535-0004 大阪市旭区生江2-15-14  
TEL: 06-6929-0300
- 5 まきグループホーム  
〒535-0004 大阪市旭区生江2-14-24  
TEL: 06-6929-5355
- 6 牧訪問看護ステーション  
〒535-0022 大阪市旭区清水4-2-22  
TEL: 06-6953-1222  
牧げあぶらん清水  
TEL: 06-6953-1235  
牧ヘルパーステーション  
TEL: 06-6953-1107  
牧ふくし用具  
TEL: 06-6958-1030  
まきデイサービスセンター  
TEL: 06-6953-1506
- 7 牧訪問看護ステーション 高殿出張所  
〒535-0031 大阪市旭区高殿6-18-41-107  
TEL: 06-4254-6660  
牧げあぶらん高殿  
〒535-0031 大阪市旭区高殿6-18-41-201  
TEL: 06-6955-7511
- 8 牧訪問看護ステーション 守口出張所  
〒570-0028 大阪府守口市本町1-7-21-102  
TEL: 06-6991-5556
- 9 牧げあぶらん守口  
〒570-0082 守口市豊秀町2-2-19-102  
TEL: 06-6991-5557
- 10 介護老人保健施設  
牧すこやかセンター  
〒535-0031 大阪市旭区高殿6-14-41  
TEL: 06-6955-4865
- 11 牧げあぶらん関目  
〒536-0031 大阪市城東区関目4-6-2-103  
TEL: 06-6786-6230
- 12 守口第5地域包括支援センター  
〒570-0033 大阪府守口市大通1-13-7  
TEL: 06-6992-1180
- 13 旭区東部地域包括支援センター  
〒535-0022 大阪市旭区新森4-27-13  
TEL: 06-4254-3336
- 14 法人本部  
〒535-0021 大阪市旭区清水2-11-14  
TEL: 06-6953-0190